

第 16 回箕輪町防災士連絡会を開催し、防災訓練の反省と 31 年度活動計画を協議 ～ SC 町、地区組織でも防災対策を重要課題として取組み～

防災士箕輪町連絡会は、平成 24 年 8 月に発足し活動を進めているところですが、会員が 41 名となった本年度は、第 5 回目の連絡会を開催し 14 名参加のもと

平成 30 年度箕輪町地震総合防災訓練の反省

平成 31 年度の活動計画協議

を行い、終了後懇親会を開催しました。



箕輪町セーフコミュニティでは、最近の災害情勢と取組み現状から、平成 28 年 3 月
くらしの安全対策委員会の課題に「地震被害軽減プログラム」を追加して

- 減災・防災意識を高め、訓練参加者や防災士を増やす
- 家具転倒防止対策や感震ブレーカーの普及促進

に取組み、地域のセーフコミュニティ組織でも防災対策の委員会等を設置するとともに、新たに本年 11 月設置規約を策定承認した「大出区安全安心なまちづくり推進協議会」でも、その重要性から防災・減災対策委員会の活動を主体的な活動とすることとしています。

○会議 第 16 回箕輪町防災士連絡会

○日時 平成 30 年 12 月 4 日(火)午後 6 時 30 分から午後 7 時 20 分

○場所 箕輪町役場

○概要

総合防災訓練の反省では、会長挨拶の「全国各地で災害が発生している今こそ、各地域の連携が必要」をもとに反省点を抽出し今後の活動に結びつけていくこととし、31 年度活動計画では、防災士のヘルメット・ベスト配布計画のもと、これまでの活動をより想定される具体的な事象を対象として進化実践させていくこととしました。

各地区の反省教訓に係る発表では大半が「実践的な訓練ができてよかった。」というものでしたが、注目される事項として

- ・若者、特に男性の参加が少ない(むずかしい)
- ・地区では、情報連絡体制遮断を想定して、地区伝令が徒歩で情報収集伝達活動にあたるシステムを確認した。

がありました。

以上